

第13回 耐火物の基礎学問研修

第13回 耐火物の基礎学問研修

耐火物並びに同関連産業の社員として働き始めた、或いは、中途採用で就職して期間が短い皆さんを対象として、耐火物の基礎技術を学ぶ研修会を開催します。関係各位の多数の参加がいただけますようご案内します。

- <主催> : 一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団
<共催> : 耐火物技術協会中国四国支部、日本セラミックス協会中国四国支部

■ 開催日程 : 2021年 5月13日(木) ・ 14日(金)

■ 開催方法 : WEB (Zoom) による配信

■ 定員 : 100回線 (受講端末回線数)

※ 回線数とテキスト在庫に限りがありますので、定員に達した時点で締め切ります。

■ 参加費 : 会員 : 11,000円(税込) /1回線

会員外 : 22,000円(税込) /1回線

※どちらか1日のみのご参加の場合も参加費は、上記価格になります。

■ テキスト代 : 1,568円(税込) (TAIKABUTSU 入門書第4版/2017年4月刊行)

880円(税込) (TAIKABUTSU 入門書第4版(2)別冊:断熱材、副資材編)

※主なテキストは「TAIKABUTSU 入門書第4版/2017年4月刊行(1,568円税込)」及び「断熱材、副資材編」(880円税込)を使用します。

※テキストは入金確認後に送付します。

■ 申込方法 : 参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX 又はメールでお申込みください。

※申込書受領後、請求書送付致します。

※WEB開催のURLは入金確認後準備出来次第、お申込みされたメールアドレス(申込担当者)へ、お知らせします。

※開催日前日になっても、URLが届かない場合は、お手数ですがご一報ください。

※申込時に主催・共催団体の会員の有無をお示し下さい。

■ 申込締切 : 2021年 4月23日(金)

■ 振込期限 : 2021年 4月30日(金)

■ 申込先 : 〒705-0021 岡山県備前市西片上1406-18 (一財)岡山セラミックス技術振興財団
TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227 Email : erazoku@optic.or.jp (川端)

第13回 耐火物の基礎学問研修 参加申込書

年 月 日

【申込担当者】

企業名	所在地 〒 -	
TEL	FAX	
申込担当者名	部署・役職	
メールアドレス	※WEB開催のURLは申込担当者へお知らせします	※受講端末回線数をご記入下さい 回線

【会員の確認】 該当社/者は会員価格で御参加いただけますので必ずお示してください。

会員は○印	団 体 名
	一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団
	耐火物技術協会中国四国支部 (中国四国支部のみ会員価格)
	日本セラミックス協会中国四国支部 (中国四国支部のみ会員価格)

【テキスト】

※「TAIKABUTSU入門書第4版/2017年4月刊行(1,568円税込)」及び「断熱材、副資材編」(880円税込)を使します。

※ご購入の場合は下記欄に冊数をご記載ください。

TAIKABUTSU 入門書第4版/2017年4月刊行 1,568円(税込)	冊	TAIKABUTSU 入門書第4版(2) 「断熱材、副資材編」880円(税込)	冊
---	---	--	---

※参加費等は、**4月30日(金)まで**にお振込下さい。(申込書受領後請求書送付します)

入金予定日: 年 月 日

【注意事項等】

※ご参加いただくにあたり、メールアドレスが必要ですので、必ずご記入ください。

※WEB開催のURLは、申込担当者へお知らせします。

※1台の端末で複数人ご参加いただくことも可能です。

※本セミナーについて、許可なく無断で複製、編集、配信、レンタル等をしないでください。

※参加申込書にご記入いただいた情報は、事業運営上必要な範囲内で、適切に使用させていただきます。

※講師への質問事項等は研修会終了後、事務局へご連絡下さい。

(アンケートの質問事項欄へご記入下さい)

■ プログラム 講義 I (5月13日(木))

日	時 間	内 容
耐火物の基礎講座 I	9:20- 9:25	開会あいさつ 一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団 理事長 矢 吹 巧
	9:25-10:40 (75分)	講義 1 「耐火物に用いられる各種原料の種類と用途」 品川リフラクトリーズ株式会社 岡山製造部 窯炉技術室 主任部員 諏 訪 毅
		TAIKABUTSU 入門書の内容をベースに耐火物で使用される各種原料の特徴について概説する。
	10:40-10:50	休 憩 (10分)
	10:50-11:50 (60分)	講義 2 「耐火物の種類と特性-耐火れんがを中心に」 黒崎播磨株式会社 技術研究所 マネージャー 赤 峰 経 一 郎
		定形耐火物の中で特に耐火れんがについて、「TAIKABUTSU 入門書 第2章」をテキストとして使用し、その種類や特性等の基本的な情報を講師の経験も適宜加味して概説する。
	11:50-12:35	昼食休憩 (45分)
	12:35-14:05 (90分)	講義 3 「不定形耐火物の基礎と応用」 日本特殊炉材株式会社 技術一部 基礎研究課 副部長 遠 藤 善 康
		「TAIKABUTSU 入門書」をベースにキャストブル、プラスチック材、モルタル、吹付材を紹介する。主に、不定形耐火物で最も重要なキャストブルに使用されているセメントの特性について解説し、キャストブルの基本的な特性についても解説する。
	14:05-14:15	休憩(10分)
14:15-15:30 (75分)	講義 4 「耐火断熱材料の基礎と断熱設計」 イソライト工業株式会社 ファーネスエンジニアリング部 部長 川 崎 修	
	高温用耐火断熱材の代表製品として耐火断熱れんが、不定形およびセラミックファイバー製品の種類、特徴、品質を解説し、断熱設計への適用事例を紹介する。更に RCF 代替製品の最新情報および高温用低熱伝導率製品の動向について説明する。	
15:30-15:40	休憩(10分)	
15:40-16:55 (75分)	講義 5 「耐火物の試験評価技術概説」 一般財団法人 岡山セラミックス技術振興財団 副所長 内 田 茂 樹	
	「耐火物入門書 第4版」の第11章に基づいて概説する。初心者が耐火物の評価試験に接して困惑することは、まずは専門用語(業界用語)、次いで、なぜそのような評価試験を、そのような条件で行うのかということではないだろうか。当然実炉の状況が絡むであろうし、評価試験の原理的なことも絡むであろう。本研修では、初心者が思い、感じる疑問に応えながら、耐火物で良く使用される評価試験法の紹介・概説を行う。	

■ プログラム 講義II (5月14日(金))

日	時 間	内 容
耐火物の基礎講座II	9:20-10:35 (75分)	講義6「耐火物製造プロセス技術」 黒崎播磨株式会社 耐火物製造事業本部 窯炉製造事業部 備前転炉工場 マネージャー <small>さか い とも ひこ</small> 坂 井 智 彦
		耐火物の分類について紹介する。また、TAIKABUTSU 入門書に沿って耐火物製造プロセス概論・各論について紹介する。
	10:35-10:45	休憩(10分)
	10:45-12:00 (75分)	講義7「耐火物の用途」 品川リフラクトリーズ株式会社 技術研究所 第1研究部 第2研究室 室長 <small>こ やけ たみ あつ</small> 小 宅 民 淳
		耐火物入門書 第4版」に基づいて、鉄鋼、セメント、ガラスや非鉄分野について、その製造炉と使用される耐火物やプロセス概要について紹介する。
	12:00-12:45	昼食休憩(45分)
	12:45-13:25 (40分)	講義8「耐火物施工副資材 - アンカーメタル -」 並田機工株式会社 生産本部 <small>にし の ゆう き</small> 本部長 西 野 有 紀
		アンカーメタルの品種、特殊、用途等の説明、熱間膨張用隙間材『ナミカラー』の特徴等の説明及びアークスタッド溶接の紹介をする。
	13:25-13:35	休憩(10分)
	13:35-14:50 (75分)	講義9「築炉技術の基礎」 株式会社広築 生産整備事業部 大阪営業所 <small>おき た かず お</small> 所長 沖 田 一 夫
「TAIKABUTSU」入門書の内容に沿って、主に煉瓦積みについて築炉技術の基礎を解説する。		
14:50-15:00	休憩(10分)	
15:00-16:15 (75分)	特別講演 「セラミックファイバーボードの耐久性の向上と工業炉リノベーション技術」 名古屋工業大学 環境材料工学科生命・応用化学学科・専攻 教授 <small>はし もと しのぶ</small> 橋 本 忍	
	健康上の問題から RCF (リフラクトリーセラミックファイバー) から AES (アルカリアースシリケート) ファイバーへ転換されつつある。低下した耐熱性の向上技術とこのファイバーボードを工業炉へ展開した場合の効果について紹介する。	

5/14
(金)